2026.
10/12 月祝

浦安市文化会館
小ホール

『カブール・ビューティー』　13:45
『希望と不安のはざまで』　15:20

★各作品上映後、トークイベントを予定

【料金】 １回券 一般・シニア・学生 999円 / サポーター会員 799円 /
高校生以下 500円、未就学児無料

【主催】 浦安ドキュメンタリーオフィス　【後援】国連 UNHCR 協会

上映後トークゲスト：川上珠実さん
(毎日新聞記者 /
『タリバンの世界 秘密学校の少女たち』著者)

『カブール・ビューティー』　©Kraken Films

上映後トークゲスト：青山弘之さん
(東京外国語大学大学院教授 /
『混迷するシリア』等著者)

『希望と不安のはざまで』　© Babel Doc

『カブール・ビューティー』 マルゴー・ベン、ソレーヌ・シャルヴォン=フィオリティ監督/フランス/2023年/52分

アフガニスタンで、女性として生きるということ
自由を求める勇気、そして“故郷”への想い

カブールの美容サロン。タリバン支配下に残された数少ない女性の聖域だ。しかし、女性の自由が制限されていく中、そこで働く人びとも生きるための困難な選択を迫られる。
親友のニギナとソフィアは20代。カブール中心部の美容サロンで仲間と働く。ここでは誰もがブルカやヒジャブを脱いで思う存分おしゃれを楽しみ、おしゃべりに花を咲かせることができる。ニギナは大学にも通っていたが、タリバン支配下で女子の大学教育は禁止に。サロンもいつまで続けられるかわからず、出国を考える2人。そんなある日、ニギナとの連絡が途絶え....

©Kraken Films

『希望と不安のはざまで』 ジャワル・ナディ、ヤエル・グジョン、アポリーヌ・コンヴァン監督/フランス/2024年/52分

独裁の終焉を迎えたシリアで人々は何を思うのか

2024年12月、アサド大統領の打倒を契機に半世紀にわたる独裁政権が崩壊し、シリアは新体制への激動の移行期を迎える。
国外に逃れた者の中には帰還を望む者もいれば、新政権の動向に恐怖を抱き、国外脱出を決意する者もいる。
本作はこの歴史的な転換期の最初の瞬間を捉え、将来への期待と未知への恐怖に揺れるシリア国民の声を映し出す。
大統領宮殿から悪名高いサイドナヤ刑務所まで、旧体制の痕跡と新たな指導者の登場とともに、岐路に立つシリアの現状を独自の視点で描き出したドキュメンタリー。

© Babel Doc

タイムスケジュール

13:30　受付開始、開場

13:45　『カブール・ビューティー』(52分)
★川上珠実さん (毎日新聞記者 /
『タリバンの世界 秘密学校の少女たち』著者)

15:20　『希望と不安のはざまで』(52分)
★青山弘之さん (東京外国語大学大学院教授 /
『混迷するシリア』等著者)

16:40　終了予定

＊各作品入替制となります

開催概要

【日程】 2026年10月12日 月祝

【会場】 浦安市文化会館 小ホール (浦安市猫実一丁目1番2)
＊専用駐車場はございませんので、できるだけ公共交通機関をご利用ください

【料金】 1回券 (各作品入替制となります)
一般・シニア・学生999円　サポーター会員799円
高校生以下500円　未就学児無料

＊経費を差し引いた売り上げ全額を
国連 UNHCR 協会に寄付させていただきます

予約フォーム
事前予約優先
前日 20:00まで！

主催:浦安ドキュメンタリーオフィス　後援:国連UNHCR協会

問合せ・申し込み▶ info@urayasu-doc.com/070-5454-1980 公式HP:urayasu-doc.com facebook.com/urayasudoc x.com/UDFF2011